

## 令和元年度 精神保健福祉部会 記録

令和元年 5月 24 (金)

午前 9:00~12:00

リハセンター 2F AV 会議室

### 1. 継続して協議する項目 9:00~9:50

#### (1) 情報共有・PR について

- ・「こころの健康展」が 6月 14日・15日にイオンモール高松で開催されます。
- ・「第 25 回 SST 全国経験交流ワークショップ in 徳島」のご案内がありました。
- ・相談支援専門員を対象とした地域移行支援の勉強会が 6月 12日ライブサポートセンターで開催されます。
- ・訪問看護ステーションから事業所のチラシ案内をいただきました。
- ・相談支援専門員の現任者研修で自立支援協議会のことも知っていただく機会を持ち、精神保健福祉部会への見学も体験していただく方向で検討中です。
- ・部会に新しく、2名参加されました。

#### (2) 元年度部会の取り組み・企画について

- ① GSV・事例検討 前回：5月 17日 (金) 14:00~場所&担当：基幹相談支援センター  
→次回について

検討したい事例があれば必要時に開催。場所：相談支援センターしののめ

#### ② 企画：

前年度の参考：1. ピアサポーターと精神保健福祉部会合同研修会

2. 医療と福祉の支援交流会 第 2 弾！

1 について：はばたきやワーキンググループの中で案を出し部会で検討をしていく。

#### (3) 精神障がい者スーパーバイザー派遣事業について

- ① 予定 10月 10日、12月 12日香川町の民生委員対象研修会

### 2. 協議内容を決めたうえで、取り組む項目 9:50~10:40

#### (1) 住まいの確保についての課題について

##### (問題提起)

精神障がい者が自ら希望し、安心して暮らせる場を確保し、生活できているのか？

本当は、希望とは合致しないが、仕方なく生活の場を選択している事例はないか？このような事例があるとすれば、なぜ、そのような事例が起きるのか？また、いかにすれば、このような課題を解決できるのか？

## ①「住まい確保に関する支援の現状と課題、現在の取り組み」

(話題提供)

「精神科病院に入院している精神障がい者が、地域において生活の場を確保する際に生じる課題とは？」

「地域で住んでいる精神障がい者が、生活の場を確保または、維持しようとした際に起きる課題とは？」

## ②個人ワーク

「住まい確保支援に関する課題、」について、ポストイットに記入する。

全体共有

個人ワークで記入した内容を各自、現状と課題、そして、取り組むべき手立てを説明したうえで共有する。そのうえで、カテゴリー別に整理する。

### ① 不動産業者の偏見

- ・精神障がい者が、生活の場を探しているということだけで、不動産業者に門残払いされるケースがある。
- ・不動産業者が、精神障がい者をどのようにとらえているか十分に把握できていない。
- ・不動産業者の精神疾患に関する知識が不足しているように思われる。
- ・精神障がい者支援において、不動産業者をサポートする体制が確立されていない。
- ・居住支援協議会との連携が十分にできていない。
- ・不動産業者と精神障がい者支援についてともに考える等の企画がほとんどない。

### ② 地域の支援体制

- ・精神障がい者支援の全体像をつかむことがなかなかできない。様々なニーズにどう対応するか等が一覧になっていたり、気軽に相談できる場所が見当たらない。
- ・精神科病院や精神科クリニックのみにつながっている方が、将来の生活の場をどこにするのかという視点に立った支援を強化しなければならない。
- ・精神科病院や精神科クリニックからつないだものの、その後の支援がどう展開されているか情報共有できていないケースがある。
- ・本当に困る前に **SOS** を出せない場合が多い。

### ③ グループホーム等受け皿に関する事項

- ・現在では、過去に行った万引きや放火等の行為を行う可能性が低くても、それを理由にグループホームの入居を断られる場合がある。
- ・グループホームが第2の病棟のように次のステップを踏み出せない場になっている。相談支援専門員やサビ管の意識も様々で、本人のニーズに合った支援ができてないことがある。
- ・家族との同居等を経験した方が、親亡き後にグループホーム等で生活すること簡単に受け入れられるものではない。

- ・グループホームでの生活をイメージするために、グループホームの体験利用を有効に活用できていない。
- ・退院後、一人暮らしをしようと思っても生活スキルが伴わず、断念せざるを得ない場合がある。生活スキルを身に着けると同時に補完できるサービスが充実していない。

#### ④経済面

- ・入院している方が、地域で生活する際に生活保護を受けて生活の場を探そうとしても、退院して生活の場を決めてからでないと生活保護を申請できないという課題がある。
- ・自宅で生活したくても生活費（自治会費や自宅の修繕費等）を収入でまかなえないと思ひ込み、誰にも相談できず、自宅への退院をあきらめる方がいる。

#### ⑤家族

- ・家族が退院を拒否しても入院加療の必要がなければ、退院できるという仕組みが確立されていない。
- ・精神科病院では、入院直後からの家族支援が不十分。

#### その他

今回あがった課題を「アウトリーチ」における課題も含めてどのように解決していくかは、次回以降の話し合いに譲る。

- (2) ピアサポ活動の場・機会拡充及び研修のあり方検討 WG 報告がありました。
- (3) 家族支援の在り方検討 WG 報告がありました。

### 3. 精神科病院からの地域移行支援に関する項目 10：40～11：20

- (1) 精神科病院内 WG 実施状況の報告がありました。
- (2) 精神科病院長期入院者の訪問実態調査について報告がありました。
- (3) 地域移行支援対象者の動向について報告がありました。
- (4) その他、報告や検討事項について話しました。

### 4. 地域移行支援事業利用予定者及び利用者に関する検討をしました。 11：20～12：00

### 5. 次回の予定

日時：令和元年 6 月 28 日（金） 9：00～12：00

場所：かがわりハビリテーションセンター 福祉センター2階 AV 会議室